

横浜市学力・学習状況調査リーフレット Q & A

Q1 新しい横浜市学力・学習状況調査は、これまでの調査と何が変わったのですか？

A1 新しい調査では、学年や年度が違ってても学力レベルを比較できることにより、一人ひとりの学力の伸びを小学校から中学校まで継続して把握できるようになりました。

Q2 何年生の時に、どの教科を実施するのですか？

A2 各学年での実施教科は次のとおりです。また、これに加えて、すべての学年で生活・学習意識調査を実施します。

小学校2、3年 国語、算数

小学校4、5年 国語、算数、理科、社会

小学校6年 国語、算数、理科、社会、外国語

中学校1年～3年 国語、数学、理科、社会、外国語

Q3 調査問題が返却されないのはなぜですか？

A3 同じ問題を、年度を越えて出題する必要があることから、問題を非公開としています。個人結果シートに、学力伸びの状況や学習のアドバイスを示していますのでご活用ください。

Q4 調査の結果は、学習評価等の資料になりますか？

A4 これまで通り、本調査の結果を学習評価の資料にしたり、入学試験等の進学に関わる資料にしたりすることは一切ありません。

Q5 個人結果シートは、いつ配付されますか？

A5 令和5年度は9月に配付する予定です。

Q6 調査の当日に欠席の場合はどうなりますか？

A6 学校ごとに後日実施期間を設定しているので、その期間での実施をします。調査は年1回しか行われないため、データの空白がなくならないようにするためです。

Q7 転校しても伸びを見ることはできますか？

A7 横浜市立学校間で転出入の際は、個人番号が引き継がれるので、継続して学力伸びを見ることができます。横浜市立学校以外の転出入については、学力の伸びを見ることはできません。転入の際は、新たな個人番号が付与され、転入以降の伸びを見ることができます。

Q8 学力レベルに伸びが見られない場合、どうしたらよいですか？

A8 新しい内容が分からなくなり、学習につまずきが出始めているかもしれないので、横浜市学力・学習状況調査の結果や日々の授業での学習状況、相談活動等により、状況を多角的に捉え、児童生徒のよりよい学びにつなげていきます。